

科目名	看護教育論 Continuing Profession Education
授業形態	講義・演習
標準履修年次	1・2年次
実施学期・曜時限等	春学期 BCモジュール、火曜日、3・4限
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴:Mori Chizuru 日高紀久江:Hidaka Kikue 萩野谷浩美:Haginoya Hiromi 非常勤講師: 角田 直枝 Kakuta Naoe 山海千保子 Sankai Chihoko
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 成人が生涯にわたり学習を継続させるための教育の基本概念としその方法について説明できる (2) 専門看護師のチームにおける専門性を高める教育的役割について説明できる (3)最新の卒後継続教育、キャリア開発の動向について説明し、自ら意見を述べることができる (4)講義やプレゼンテーション内容について、科学的、論理的な視点からの討議により臨床現場における指導者としての課題や方向性を提示できる
他の授業科目との関連	専門看護師養成課程履修者の専門基礎科目に位置づける
履修条件	専門看護師養成課程履修者は必修
授業概要	看護ケアの質を高めるために必要な看護職への教育的働きかけ、教育環境づくり等、看護の継続教育に関する知識と技術を習得する
キーワード	卒後継続教育、中堅スタッフの育成、リフレクション
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。なお、演習の時間を設ける。 1 (5/21) (新人看護師の実践力の育成とその方法) (森千鶴) 2 (5/28) (中堅スタッフの育成) (萩野谷浩美) 3 (6/4) (スタッフのキャリア開発) (日高紀久江) 4 (6/11) (スタッフの継続教育) (日高紀久江) 5 (6/18) (専門看護師がになう教育的役割①) (角田 直枝) 6 (6/25) (ベッドサイドにおける卒後教育) (山海千保子) 7 (7/2) (看護師の継続教育に関連した研究) (萩野谷浩美) 8 (7/9) (専門看護師が担う教育的役割②) (森 千鶴) 9 (7/23) (看護の実践と発展を支えるリフレクション①) (森 千鶴) 10 (7/30) (看護の実践と発展を支えるリフレクション②) (森 千鶴)
学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法	講義(80%)と演習(20%)を併用する  課題: 自己の看護実践をリフレクションサイクルに沿って分析し、今後の課題を明確にし、プレゼンテーションを行う
成績評価方法	2/3以上の出席を単位取得の要件とする プレゼンテーションと資料で評価する 評価基準は以下のとおりである A+ 自己の看護実践についてリフレクションサイクルに沿って分析し、課題や方向性について科学的・論理的に述べるができる A 自己の看護実践についてリフレクションサイクルに沿って分析し、課題や方向性について述べるができる B 自己の看護実践についてリフレクションサイクルにそって分析し、課題をまとめることができる C 自己の看護実践についてリフレクションサイクルに沿って分析できる

教材・参考文献・配布資料等	毎回プリントを配布し、それに沿って進める。従って指定する教科書はない。 参考書:看護の教育・実践にいかすリフレクション 田村由美著3024円、南江堂
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	積極的に討議に参加する